

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、話し合いの場面で参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く問題や、意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く問題、事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く問題などが出題されています。

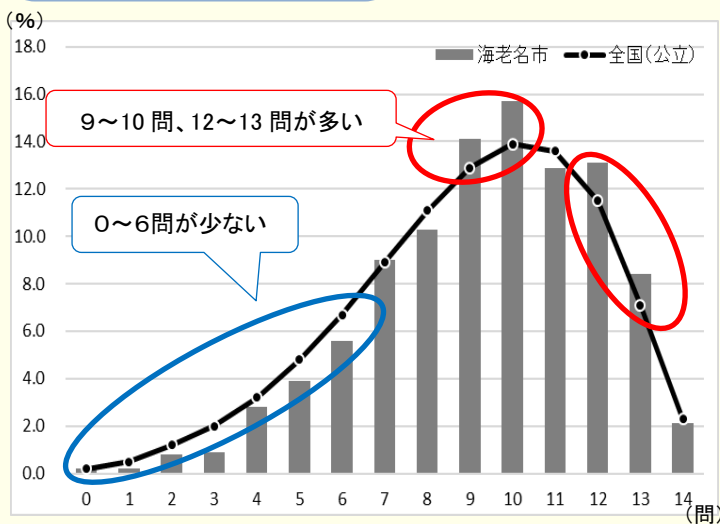
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	66.8%	65.0%	64.6%	2.2
平均正答数	9.4/14問	9.1/14問	9.0問 /14問	0.4

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

正答数分布グラフ

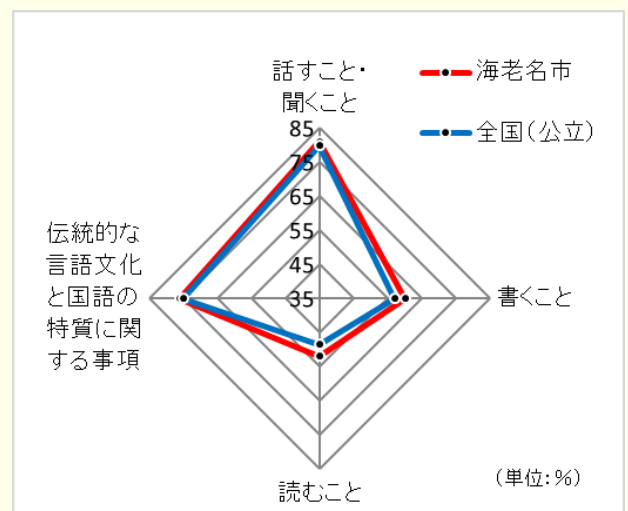
(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



- * 正答率 50%以下(0~7 問)の生徒の割合は 23.4%です。【全国は 27.5%】
- * 正答率 80%以上(12~14 問)の生徒の割合は 23.6%です。【全国は 20.9%】
- * 中央値は 10 問です。【全国は9問】

中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

学習指導要領の領域等の平均正答率



全ての領域において、
全国と比較して上回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率 (%)			平均無解答率 (%)		
			海老名市	全国(公立)	全国との比較	海老名市	全国(公立)	全国との比較
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3問	81.0	79.8	1.2	2.0	3.1	-1.1
	書くこと	3問	60.1	57.1	3.0	4.3	6.2	-1.9
	読むこと	4問	52.0	48.5	3.5	7.0	8.1	-1.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4問	76.1	75.6	1.0	0.9	1.7	-0.8
問題形式	選択式	6問	66.1	63.9	2.2	0.1	0.4	-0.3
	短答式	4問	75.8	74.4	1.4	2.3	3.2	-0.9
	記述式	4問	59.0	56.0	3.0	9.1	11.4	-2.3

海老名市の結果についての分析

- 平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べてやや上回っています。
- 平均正答率が全国を上回った問題は、14問中13問です。また、平均正答率が80%以上の問題は、14問中4問(全国も4問)です。
- 領域別から見ると、平均正答率が80%以上の4問のうち、2問が「話すこと聞くこと」の領域です。
- 無解答率が全国よりも高かった問題は14問中0問です。特に、記述式の無解答率が低い傾向がみられます。

全国の正答率と差が見られた問題の例

中学校国語のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

山田さんが書いた「意見文の下書き」の構成にはどのような工夫がありますか。複数の段落に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、1、2などの段落の番号を示しながら書くこと。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【1】 SNS（ソーシャルネットワークサービス）などを活用し、インターネット上で文字を通したりしたりする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたことが正しく伝わらないことがある。^①（手紙）

【2】 以前、私は次のような経験をした。SNSを覗いて、みんなで持ち合わせた相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、持ち合わせた場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの」と書いたところ、「どうして行っていないのよ」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのよ」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないように丁寧に書いておけば、このようなことは起こらなかっただろう。

【3】 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる経験こそがSNSのよさだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらなければ、私が経験したように相手に誤解を与え、不快な思いをさせてしまうこともあるのだ。

【4】 SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝わるために、言葉に十分に意味を込めることが大切だ。少なくとも自分の経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

2 意見文を書く

趣旨 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えることができるかどうかをみる。

正答は省略

◇この問題の正答率

海老名市	79.6%
全国（公立）	74.5%
（全国との比較）	+5.1

考察

- 話し合いの話題や方向性を捉えて、質問者の質問の意図や司会の役割について適切に捉えることができます。また、記述式の設問に対する正答率が全国と比べて高く、無回答率も全国と比べて低いことから、設問に対し粘り強く取り組むことについて成果が見られます。
- 叙述を根拠とした自分の考えを持つ力や意見文等の段落相互の関係を捉える力に課題が見られ、指導の工夫が求められます。

指導の改善にむけて

◆考えの根拠を引用することができるようになるために

- 作品に対する考えを書く際に、「どこからそう感じたのか」という根拠を意識させ、叙述に基づいて考えるように指導します。例えば、根拠の示されていない解答例をもとに、根拠となる部分を学級全体やグループで検討する活動等が考えられます。

◆段落相互の関係を捉えるために

- 説明文を扱った学習場面等で、段落相互の関係に着目し、文章の構成を捉えさせる指導を行います。また、意見文を書く学習では、段落の役割や順序を意識させて指導します。